

「（仮称）歌舞伎町エリアマネジメント基本方針」 （中間案）

（仮称）歌舞伎町エリアマネジメント基本方針策定委員会

令和 8 年 1 月 2 7 日版

歌舞伎町エリアマネジメント基本方針 | 構成

[本編]

- 1 「歌舞伎町エリアマネジメント基本方針」策定の意義
- 2 歌舞伎町エリアマネジメントの基本的な考え方
- 3 歌舞伎町エリアマネジメントの範囲
- 4 歌舞伎町ルネッサンス憲章
- 5 基本目標
- 6 活動の方針
- 7 リーディングプロジェクト
- 8 推進方策（基本方針の推進体制、TMOの役割、区の役割）

[巻末]

- ・ 検討のプロセス（策定委員会名簿も掲載）
- ・ 課題の整理
- ・ データ

歌舞伎町エリアマネジメント基本方針を手に取った人の共感を生み、一緒に活動したいと感じてもらえるよう、わかりやすい基本方針とする。

基本目標

エリマネ活動を通して実現したい歌舞伎町の将来ビジョン

活動の方針

将来ビジョン（基本目標）の実現に向けた取り組みの方向性

リーディングプロジェクト

将来ビジョン（基本目標）の実現に向けて、活動方針に基づき、先行的に実施している、又は実施する取り組み

1 歌舞伎町エリアマネジメント基本方針策定の意義

(1) 現状の課題の解決につながる方向性を示すもの

(2) 更なる歌舞伎町の発展とブランディングにつながる未来志向の方向性を示すもの

(3) 多様な主体の協働につながる羅針盤

2 歌舞伎町エリアマネジメントの基本的な考え方

歌舞伎町地区の良好な環境やイメージ向上に向け、
地区内事業者・商店街振興組合・町会、地域団体、
区、行政機関、TMO等が地区のビジョンを共有し、
相互に連携しながら、主体的に歌舞伎町のまちづく
り（課題解決）に取り組む

3 歌舞伎町エリアマネジメントの範囲

歌舞伎町一丁目、歌舞伎町二丁目、新宿五丁目の一部



4 「歌舞伎町ルネッサンス憲章」

歌舞伎町商店街振興組合と歌舞伎町二丁目町会は、これから取り組む我々の「歌舞伎町ルネッサンス憲章」をここに宣言します。

歌舞伎町は、戦後まもなく街の区画整理を進め「産業博覧会」「歌舞伎劇場」を含む興行街の誘致や、物販街、飲食街が調和する洒落た複合街づくりを目指した先人の礎の上に発展してまいりました。

その後、西武新宿駅の誘致、新宿サブナードやハイジアの建設など、幾多の大規模な事業を、歌舞伎町のまちづくりの一環として推進してきました。また、風営法の改正や最近の消防法の改正など、それぞれの時代の要請にあわせた法律整備を提唱し、あるいは積極的に支持してきました。

これらの歴史を経て戦後60年を迎え、我々は今、時代の変革点に立っていると考えています。歌舞伎町の繁華街は、生まれ変わる時期にきており、また町の交通アクセスも時代とともに大きく変化しています。この変革に際し、我々が目指す歌舞伎町の基本理念を以下に掲げ、新しい時代にふさわしいまちづくりを進めていきます。

平成17年1月27日

I 新たな文化の創造を行い、活力あるまちをつくります。

健全な歓楽街を目指し、24時間365日誰もが楽しいまちにします。

映像・演劇・音楽など最先端の情報、文化を世界に発信するまちにします。

世界の人達の交流の拠点となり、多文化が共生するまちをつくります。

II アメニティ空間を創造し、魅力あふれるまちをつくります。

繁華街を再生し、21世紀を先導するアメニティを創造するまちにします。

バリアフリーに配慮した誰もが、安心して歩けるまちをつくります。

全ての観光客にとって、一度は訪れたい魅力的な空間のあるまちにします。

III 安全で安心な美しいまちをつくります。

常に防犯に努め、違法営業、犯罪組織を排除した安全なまちにします。

防災意識を高め、高度な防災機能を備えた安心して楽しめるまちにします。

環境美化を推進し、見違えるほど綺麗なまちにします。

5 基本目標・6 活動方針項目

基本目標

活動の方針（項目レベル）

視点

I

（カルチャーの創造・発信）

「エンターテインメントシティ歌舞伎町」として常に楽しめるコンテンツを展開・発信し続ける

- エンタメの追求
- ブランディング
- コンテンツづくり
- 酒場文化の尊重
- プロモーション
- ターゲット層の拡大

- ・世界最大の繁華街、エンタメの中心として歌舞伎町でしかできないカルチャーやチャレンジを恒常的に発信し続ける。
- ・最先端や質だけでなく他のまちにはないものを追求する。
- ・エンタメの中心として輝くまちになるよう歌舞伎町ブランドをプロモーションする。
- ・ローカルチャーだけでなく、ハイクルチャーをしかけることで、ハイ＆ローを両立させ、ブランディングやモラルの浸透を図る。
- ・歌舞伎町の酒場文化を尊重し、秩序ある酒場の風景を実現する仕組みを検討する。
- ・ゴールデン街の酒場の風景を将来まで守り続け、活かすための制度を検討する。
- ・インバウンド、ファミリー、女性、若者、子供など、来街者層の拡大を目指す。

II

（広場・空間等の管理・活用）

歌舞伎町の個性を風景として表現し、活動の舞台を整える

- シネシティ広場の活用
- 大久保公園の活用
- ゾーンごとの特徴ある風景づくり
- 回遊のための魅力づくり
- 花やみどりによる憩い空間
- 協働のまちづくりによる整備・管理

- ・シネシティ広場をエリアマネジメントの中心的な拠点と位置付け、活用のための仕組みを再考する。（設備や什器の充実含む）
- ・大久保公園を更なる賑わいの場として変革させることで、負のイメージを解決していきながら、歌舞伎町の魅力向上を図る。
- ・エリア・拠点・通りごとの特色や性格を定めて、差別化を進め、風景をつくる。
- ・人々の回遊を高めるためのしかけづくり魅力づくり。
- ・花やみどりによる憩い空間やしつらえを創出する。
- ・歌舞伎町まちづくり誘導方針と整合性を図ったうえで整備・管理・活用を進める。

III

（安全安心・環境美化）

ルールの浸透により歌舞伎町の秩序をつくる

- 課題をエンタメに
- ルールの徹底
- クリーン・アクション
- 防災
- 来街者への啓発

- ・課題を楽しく参加できるエンタメにより解決する姿勢を大切にし秩序を守る。
- ・歌舞伎町の状況に応じたごみの適正排出に向けた取組を推進する。
- ・ルールを守る人あるいは環境美化や安全安心に資する活動を行った人が優遇される仕組みをつくる。
- ・来街者には、ポイ捨てごみの量や場所の見える化など、課題意識を醸成させる。
- ・秩序ある歌舞伎町の実現に向けて、店側の責任を明確化する。
- ・不法投棄事業者へは、ルール徹底の対応を進める。
- ・災害時を想定した対応を進める。
- ・情報発信・誘導によるルールの浸透や、外国人へのルールを周知し徹底させる。

IV

（協働の推進）

多くの人が歌舞伎町に関わる機会を増やし、主体的に協働を推進する

- 活動参加の機会創出
- 参加のメリットづくり
- 連携の形態
- 活動のPR・周知

- ・行き場のない若者を含む多様な人々の活力をまちに活かせる機会を創出する
- ・メリットをつくり参加を促進する。
- ・課題やイベントごとに各事業者、関係機関、地域団体それぞれがプレイヤーとなり、連携しながらエリアマネジメントを推進する。

6 エリアマネージメント公式の掲示板など

基本目標・活動の方針案

(カルチャーの創造・発信)

I 「エンターテインメントシティ歌舞伎町」として 常に楽しめるコンテンツを展開・発信し続ける

●歌舞伎町に必要なエンタメを追求する

- ・世界最大の繁華街として、「最先端」や「質」にこだわらず、「他のまちには無いエンタメ」を追求します。歌舞伎町でしかできないカルチャーやチャレンジを恒常的に創出・発信し続けるとともに、ローカルチャーだけでなくハイカルチャーをしかけることで「ハイ&ロー」を両立させます。

●これからの歌舞伎町のためのブランディングを推進する

- ・これまで以上に日本のエンタメの中心として輝くまちを目指し、ポジティブな歌舞伎町ブランドを様々な手法や媒体を活用し、積極的にプロモーションします。これまで大切にされてきた歌舞伎町ブランド（「歌舞伎町ブランド」の定義について、引き続き策定委員会で検討）を踏襲しながら、個々の取組をまち全体で包括し、わかりやすく「歌舞伎町全体が最大のコンテンツである」ことを周知します。

基本目標・活動の方針案

●酒場文化を尊重した秩序ある酒場の風景を実現する

- ・歌舞伎町の酒場文化を尊重し、秩序ある酒場の風景を実現するための仕組みを検討します。また、風情あるゴールデン街の酒場の風景を将来まで守り続け、活かすための制度を検討します。

●更なるターゲット層の拡大を目指す

- ・インバウンド、ファミリー、若者、女性、子どもなど、多様な来街者層の拡大を目指します。現状の大人向けのまちであることを維持しつつ、ファミリー・子ども向けに幅を広げたカルチャー・エンタメを提供することで、来街者層や時間帯による楽しみ方の幅を広げます。

基本目標・活動の方針案

(広場・空間等の管理・活用)

Ⅱ 歌舞伎町の個性を風景として表現し、活動の舞台を整える

● エリアマネジメントの中心的な拠点としてシネシティ広場を活用する

- ・ シネシティ広場をエリアマネジメントの中心的な拠点と位置付け、活用のための仕組みを再検討します。常に何かが行われ楽しく過ごせる場所、誰もが楽しめる場所を目指し、屋外で様々なコンテンツを展開しやすいよう、設備や什器の充実を図ります。

● 大久保公園の活用により歌舞伎町の魅力向上を図る

- ・ 大久保公園を更なる賑わいの場として変革させることで、大久保公園周辺の負のイメージを改善し、歌舞伎町の魅力向上を図ります。現在、大久保公園はスポーツやグルメイベントの拠点として位置付けられていますが、シネシティ広場など他拠点との連携を強化し、来街者の回遊性を高めるためのしかけを検討します。

基本目標・活動の方針案

●ゾーンごとの特徴ある風景をつくり回遊性を向上させる

- ・エリア・拠点・通りごとに特色や性格を明確に定め、特性を打ち出し差別化や聖地化を進め、特徴ある風景づくりを目指します。各拠点の得意分野（映画、音楽など）を伸ばし、「空間や環境、風景、個性」をビジュアルとして表現することで、その分野を目指す人にとっての聖地へと高め、まちの回遊性を向上させます。

●花やみどりによる憩い空間を演出する

- ・歌舞伎町に人の手が入っていることが感じられ、歌舞伎町のイメージを柔らかくすることを目指し、花や緑を増やす活動により憩い空間やしつらえを創出します。商店街灯へのフラワーポット設置など、みどりを活かす仕組みを構築することで、美しさや賑わいに繋がる活動の舞台を整えます。

基本目標・活動の方針案

●協働のまちづくりによる整備・管理を推進する

- ・歌舞伎町まちづくり誘導方針と整合性を図りながら、活動の舞台となる空間の整備、管理、活用を推進します。道路、公園、公開空地等の活用を進め、日常的にまちの活動に使える場所を増やします。整備や維持管理においては、TMO、事業者・ビルオーナーといった多様な主体が役割を明確にし、区や警察と連携・協働して取り組む体制を推進します。

基本目標・活動の方針案

(安全安心・環境美化)

Ⅲ ルールの浸透により歌舞伎町の秩序をつくる

●まちの課題をエンタメに転換する

- ・歌舞伎町が持つネガティブなイメージや課題を、「エンタメに変える」発想を大切にします。見ていて楽しく、参加できるエンタメによってルールを守り、秩序を「守る」だけでなく「つくる」姿勢を目指します。

●ルールを周知し徹底させる

- ・法令や歌舞伎町の独自ルールの浸透に向けて、行政や警察との連携を強化するとともに、TMO、事業者などの多様な主体それぞれが情報発信・啓発に取り組みます。
- ・来街者に対し、情報発信や誘導によるルールの浸透を図り、特に外国人へのルールを守らせます。日本と海外の法や常識の違いを踏まえ、外国人観光客がルールを守るための工夫を検討し、歌舞伎町の秩序づくりへの徹底を図ります。

基本目標・活動の方針案

●クリーン&セーフティ・アクションを推進する

- ・誰もが安心して楽しめる秩序ある歌舞伎町を実現するため、歌舞伎町の状況に応じ、ごみの適正排出に向けた取り組みや、ごみ箱の再設置の検討、清掃のエンタメ化など、クリーン&セーフティ・アクションを推進します。

ルールを守る人あるいは環境美化や安全安心に資する活動を行った人が優遇される仕組みをつくることで、主体的な行動を促します。

また、ごみの不法投棄事業者へはルール徹底の対応を進めるとともに、事業者側の責任を明確化し、秩序ある歌舞伎町の実現を目指します。

●オール歌舞伎町で防災アクションに取り組む

- ・計画的に災害時を想定した対応を進め、防災意識を高めます。特に、オール歌舞伎町を対象とした災害時の訓練を実施することで、防災力の向上を図る。また、帰宅困難者対策を含めた訓練を広く実施することで、エリア内の関係づくりにもつなげます。

基本目標・活動の方針案

(協働の推進)

IV 多くの人が歌舞伎町に関わる機会を増やし、 主体的に協働を推進する

●活動に参加できる機会を創出する

- ・歌舞伎町が持つ寛容性を活かし、行き場のない若者たちを含む多様な人々の活力をまちに活かせる機会を創出します。様々な人々がイベントに従事できる仕組みづくりや、事業者の持つ店舗等のスペースを貸し出してもらうなどの協力を促すことで、多様な層の活動参加の敷居を低くします。

●参加のメリットをつくる

- ・誰もが課題解決や地域活動に参加しやすいようにモチベーションを高めます。「得する」「稼げる」「楽しめる」などの優遇される仕組みを検討し、主体的な協働を促します。

基本目標・活動の方針案

●多様な連携の形態を検討する

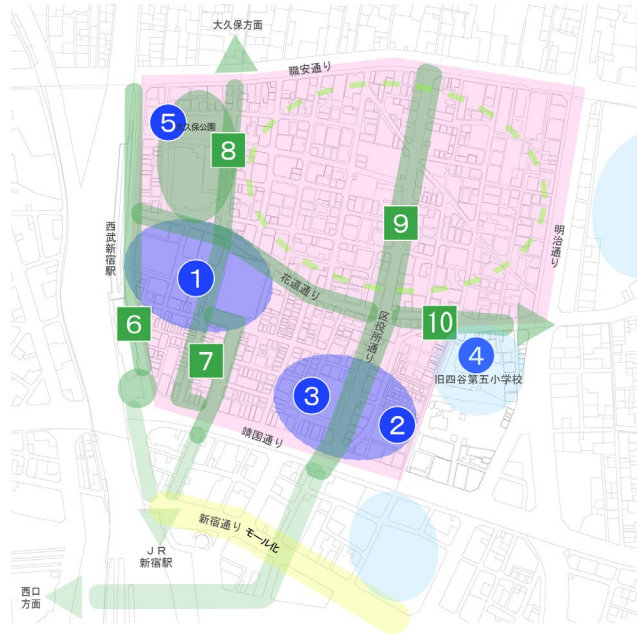
- ・ エリアマネジメントを推進するにあたり、課題やイベントごとに、各事業者、関係機関、地域団体等がプレイヤーとなって連携します。連携先は歌舞伎町内にこだわらず、外部の事業者や大学・研究機関なども取り込んで、多様なコラボレーションを目指します。

●参加のためのPR・周知を行う

- ・ エリアマネジメントの活動や取組み、まちの魅力を広く周知し、参加を促すための情報発信を強化します。エリアマネージメント公式の掲示板をつくることで、活動内容や成果の共有、プラットフォームとして機能させます。

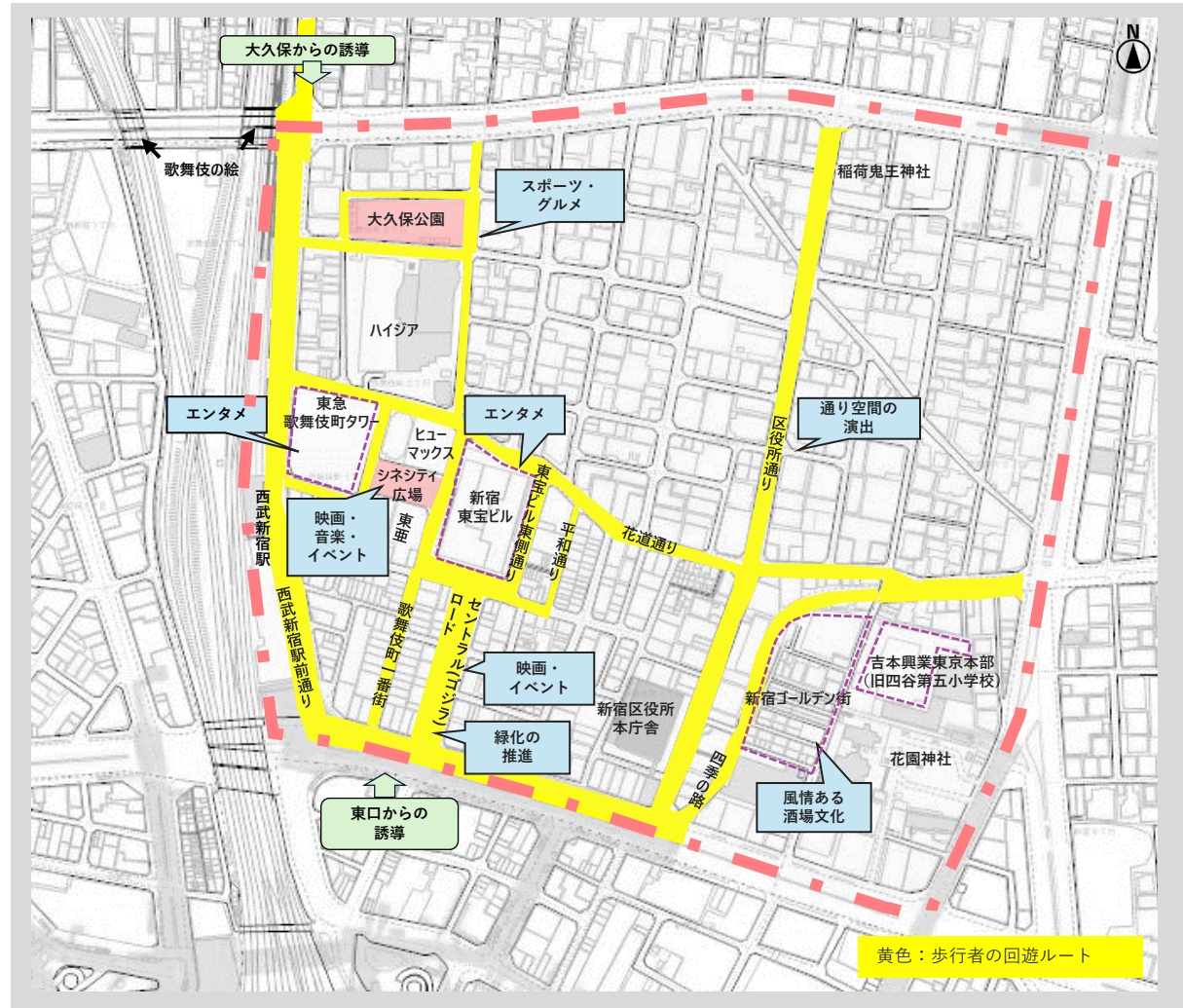
歌舞伎町まちづくり誘導方針に照らしたにぎわい拠点のイメージ

『歌舞伎町まちづくり誘導方針』に示されている
魅力ある5つの「核と軸」の創出のイメージ



5つの核	5つの軸
①シネシティ広場を囲む中心街区	⑥西武新宿駅前通り
②ゴールデン街	⑦一番街、セントラルロード
③新宿区役所	⑧大久保公園東側通り
④旧四谷第五小学校	⑨区役所通り
⑤大久保公園	⑩花道通り

基本目標・活動方針に掲げる広場・空間の活用



西武新宿駅前通り



シネシティ広場



大久保公園



セントラル（ゴジラ）ロード



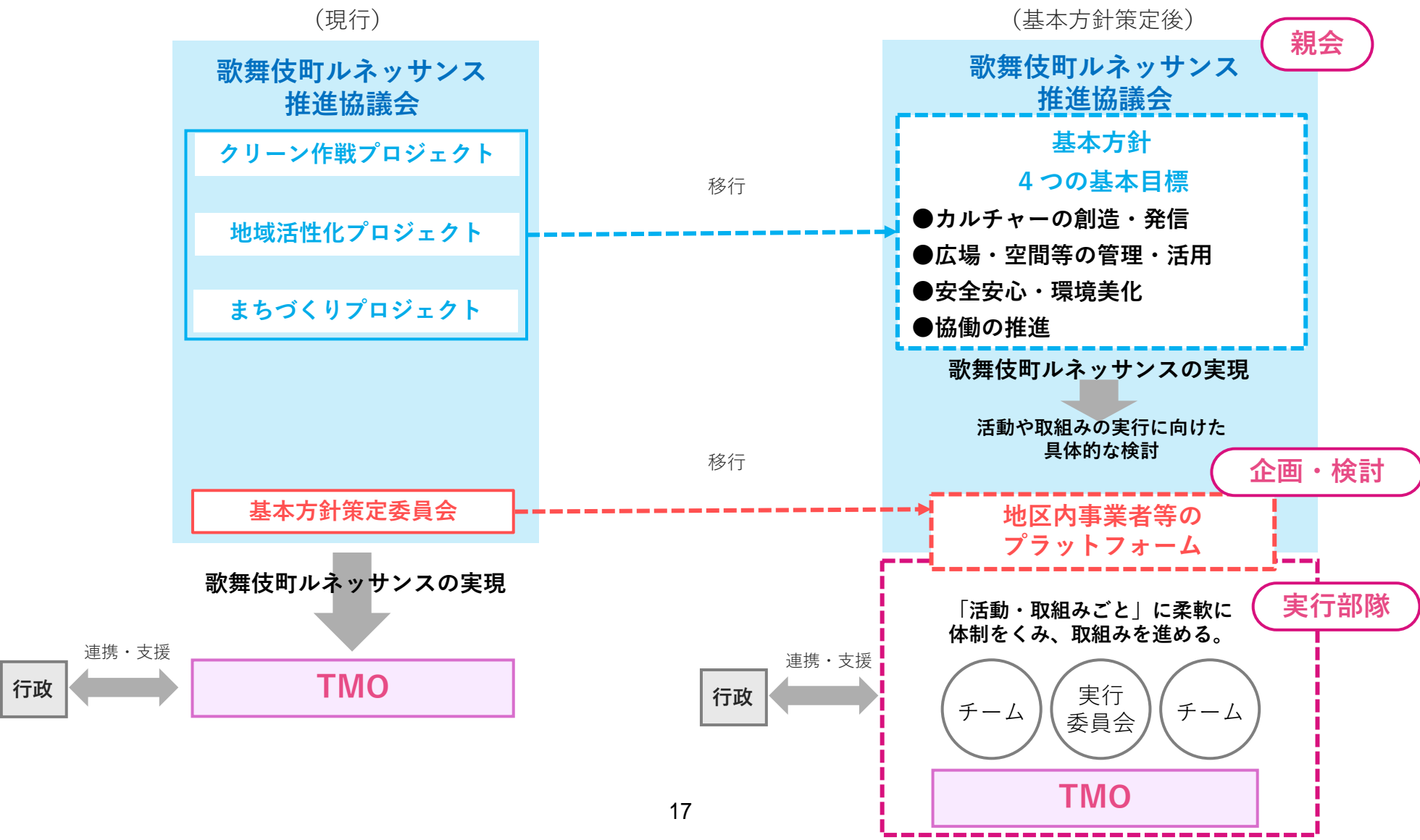
区役所通り
イルミネーション



ゴールデン街

基本方針の推進体制のイメージ

策定した基本方針に基づき、各プロジェクトを推進します。



取組みの具体的事例について

ゴジラ新宿観光特使10周年イベント

【日時】 令和7年12月13日(土)

【会場】 シネシティ広場

【主催】 ゴジラ新宿観光特使10周年イベント実行委員会（歌舞伎町商店街振興組合、歌舞伎町タウン・マネージメント、新宿観光振興協会、TSTエンタテインメント、ヒューマックス、東亜興行）

【特別協力】 東宝株式会社

【後援】 新宿区

【内容】 トークショー、ゴジラ新宿観光特使10周年記念カード配布、都立戸山高校ブラスバンド部演奏、歴代ゴジラビジョン上映、映画撮影品&レアポスター展示、キッチンカー



KABUKICHO KITCHENCAR PARK

【日時】 令和7年7月～

【会場】 シネシティ広場

【主催】 一般社団法人歌舞伎町タウン・マネージメント

【運営】 KABUKICHO KITCHENCAR PARK実行委員会

【後援】 新宿区

【内容】 日替わりキッチンカー、大道芸

Kabukicho Street Live+やKabukicho Street Cypherとのコラボ開催



TMOの役割

- 「賑わいがあり誰もが安心して楽しむことのできるまち・歌舞伎町」を実現することを目的とし、エリアマネジメントの中核組織として、事業者・町会・行政など多様な関係者のハブとなり、歌舞伎町のビジョンを共有し、地域の連携を強化する。
- 安全安心・環境美化、地域活性化、文化発信、そしてまちづくりに関する事業を一体的に推進し、公共空間の活用や地域プロモーション等の事業を協働で展開する。
- 事業から得られた収益を公益活動へ再投資することで、持続的な課題解決と地域価値の向上を実現する。

エリアマネジメントにおいて求められる区の役割

- 歌舞伎町エリアの事業者として、歌舞伎町エリアマネジメント基本方針に基づき、エリアマネジメント活動が円滑に推進されるよう必要な連携を行うことが求められる。
- 財政支援の規模の適正化を図るとともに、行政として総合的に判断し、必要な環境整備や制度整備を実施していくことが求められる。